

## 2019 年度通常総会添付書類

### <2019 年度事業報告>

#### I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2019年度（2019年3月1日～2020年2月29日）は下記を実施した。

##### (1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第4条1号）

時 期	名 称	内 容	場 所	参加者数	演題数
2019/4/17	特別講演会	「発電用ガスタービン 高効率・大型化への挑戦 ～設計の現場で感じたことごと～」	東芝エネルギーシステムズ(株) ラゾーナ川崎東芝ビル	60名	1
2019/4/21	第1回ガスタービン市民フォーラム	「ジェットエンジンのお話」	(国研)宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター	176名	1
2019/6/7	第7回日本ガスタービン学会男女共同参画推進イベント	講演および意見交換会 「男女共に働きやすい職場とは」	三菱重工大阪ビル	20名	3
2019/7/5	2019年度見学会	設備見学および技術懇談会	(株)JAL エンジニアリング エンジン整備センター/成田航空機整備センター	58名	-
2019/7/18-19	第32回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育（講義および施設見学）	(株)IHI 昭島事務所、IHI そらの未来館	59名	7
2019/9/17	第2回ガスタービン市民フォーラム	「航空機用ガスタービンエンジン～その原理と最新の研究開発動向～」	函館工業高等専門学校	48名	1
2019/9/18-19	第47回日本ガスタービン学会定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表、定期講演会講演論文集発行(185部)	函館アリーナ	177名	65
2019/11/17	第3回ガスタービン市民フォーラム	ジェットエンジンの中身と仕組み	虎ノ門ヒルズフォーラム	37名	1
2019/11/17-22	International Gas Turbine Congress 2019 Tokyo (IGTC2019)	講演発表会、製品・技術の展示会および見学会	虎ノ門ヒルズフォーラム	493名	178
2019/12/13	第1回若手技術者交流会	ガスタービン専門分野の講義と技術者同士の交流	川崎重工業(株) 明石工場	27名	2
2020/1/23-24	第48回ガスタービンセミナー	「ガスタービンおよびエネルギー関連技術の最新動向」、セミナー資料集発行(120部)	東京大学 山上会館	80名	11

(2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第4条2号）

図 書 名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2019/3/20, 5/24, 7/19, 9/20, 11/20, 2020/1/27	2,200
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	2019/4, 6	Web 掲載
国産ガスタービン・過給機資料集（2019年版）	2020/2/28	200

(3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第4条3号）

2019年度に継続して共催・協賛した行事は40件であり、新規のものは下記の5件である。

種類	開催時期	名 称	場 所	関連団体名
協賛	2019/5/8-9	International Conference on Turbochargers and Turbocharging Asia Pacific	PARKROYAL on Beach Road, Singapore	IMEchE (Institution of Mechanical Engineers)
協賛	2019/7/1-5	第3回アジア赤外線サーモグラフィコンファレンス (QIRT-Asia2019)	東京工業大学 大岡山キャンパス 大岡山西9号館ほか	日本非破壊検査協会
協賛	2019/10/23-24	流体関連振動のプロアクティブ・デザイン～振動・騒音の基礎から予見的設計手法まで	かながわサイエンスパーク内 会議室	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所
協賛	2019/11/27	エネルギー技術シンポジウム 2019 エネルギー材料開発・エネルギーシステム評価のための先端計測技術	東京国際交流館 プラザ平成 国際交流会議場	(国研)産業技術総合研究所
協賛	2020/2/13	陸内協令和元年度講演会	日本陸用内燃機関協会 4階会議室	日本陸用内燃機関協会

また、ASME/IGTI が開催する Turbo Expo 2019 の展示会に事務局職員を派遣するとともに学会のブースを開設して、情報発信および関連機関との交流を行った。

日本学術会議協力学術研究団体および公益社団法人日本工学会構成団体として学協会共通の諸課題について情報交換を行なった。

(4) ガスタービン及びエネルギー関連技術に関する研究、調査（定款第4条4号）

名 称	実 施 期 間	調 査 内 容
「国産ガスタービン・過給機生産統計（2019年版）」の資料収集および公表	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産統計に関する資料を収集し、纏めると共に、結果を学会誌9月号に掲載した。
ガスタービンを考える会の開催	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の方向性や戦略について調査検討し、学会版技術ロードマップの改訂、プロジェクト案の策定、実現方策・体制案の検討などを行った。
ガスタービン研究開発プロジェクトに関する調査研究	2018年度から実施中	航空用ガスタービン技術の共同研究プロジェクトを実現する可能性を検討し、国内共同利用材料データベースを構築する研究開発プロジェクトの案をまとめるため、新たな調査研究委員会を設置して検討を進めた。
産官学連携に関する調査研究	毎年度継続して実施中	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機的連携やプロジェクト実現の方策を検討した。また、地方企業との懇談会を実施し、有効な産官学連携のスキームを検討した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条5号）

ガスタービン及びエネルギー関連技術に関連した研究及び技術開発を奨励するため、2年に一度、優れた研究、技術に対して、日本ガスタービン学会賞（論文賞、技術賞、奨励賞）を授与している。2019年度は、学会賞審査の年度にあたるため、学会賞審査委員会において、学会賞の審査を行なった。その結果、論文賞2件、技術賞3件、奨励賞2件を選出した。若手人材育成のため、第47回日本ガスタービン学会定期講演会において優れた研究発表を行った学生（2名）を表彰（日本ガスタービン学会学生優秀講演賞）した。また、第47回日本ガスタービン学会定期講演会および International Gas

Turbine Congress 2019 Tokyoにおいてそれぞれ講演発表する学生の交通費の一部助成（15名、2名）を実施した。

名 称	受賞内容 ・ 受賞者
2019年度日本ガスタービン学会賞 [論文賞]	「遷音速ファンのフラッター境界予測におけるミスチューニング効果の統計的感度解析」 立石 敦, 渡辺 紀徳, 姫野 武洋 (東京大学), 青塚 瑞穂, 室岡 武 ((株)IHI) (日本ガスタービン学会誌 46巻1号 2018年1月)
	「動翼シュラウド流れ制御による蒸気タービンの段効率向上」 柴田 貴範 (三菱重工業(株)), 福島 久剛, 瀬川 清 (三菱日立パワーシステムズ(株)) (日本ガスタービン学会誌 46巻5号 2018年9月)
2019年度日本ガスタービン学会賞 [技術賞]	ハイパワー・スリム・エンジンの研究 防衛装備庁航空装備研究所, (株)IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 防衛システム事業部
	5MW級M5Aガスタービンの開発 寺内 晃司, 池口 拓也, 上村 大助, 松本 匡史 (川崎重工業(株))
	高効率軽量ファン・タービン技術 西澤 敏雄, 石井 達哉, 北條 正弘, 賀澤 順一 (宇宙航空研究開発機構), 草川 剛 ((株)IHI)
2019年度日本ガスタービン学会賞 [奨励賞]	岡田 隆一 ((株)IHI) 対象論文: 超音速矩形ジェットから発生する騒音のマイクロジェットによる抑制 第三報騒音低減要因に関する考察 (日本ガスタービン学会誌 45巻4号 2017年7月)
	齋藤 拓海 (法政大学大学院) 対象論文: 淀み点保炎噴霧燃焼器の排気性能に及ぼす燃料微粒化レベルおよび空気温度の影響 (日本ガスタービン学会誌 46巻2号 2018年3月)
2019年度日本ガスタービン学会学生優秀講演賞	有賀 寛純 (高知工科大学大学院) 「防除氷のためのCFRP電流印加による発熱効果に関する実験的研究」 (第47回日本ガスタービン学会定期講演会)
	光末 由宇陽 (東京大学大学院) 「圧縮機翼列から生じる空力騒音の特性と発生機構に関する研究」 (第47回日本ガスタービン学会定期講演会)

(6) その他本学会の目的を達するために必要な事業 (定款第4条7号)

ホームページからの情報発信の充実化を図るとともに、ソーシャル・ネットワーキング・サービスによる情報発信の強化に努めた。

## II. 運営組織の概要

### 1. 役員・会員・職員

#### (1) 役員 (理事、監事)

2020年2月29日現在

役 名	氏 名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所 属
会 長 代表理事	渡辺 紀徳	非常勤	2016/4/15	なし	業務の総括	東京大学
副会長 代表理事	識名 朝春	非常勤	2019/4/17	なし	業務の総括	(株)IHI
執行理事	寺本 進	非常勤	2018/4/23	なし	法人管理 総務	東京大学
執行理事	壹岐 典彦	非常勤	2018/4/23	なし	法人管理 企画 (兼務) 公1 (3) 表彰・助成	(国研)産業技術総合研究所
執行理事	大石 勉	非常勤	2018/4/23	なし	法人管理 財務	(株)IHI

執行理事	鮎 雅英	非常勤	2019/4/17	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	川崎重工業(株)
執行理事	北山 和弘	非常勤	2018/4/23	なし	法人管理 国際関係 公1(1) 国際会議(兼務)	東芝エネルギーシステムズ(株)
執行理事	野崎 理	非常勤	2019/4/17	なし	公1(1) 学術講演会	高知工科大学
執行理事	山本 誠	非常勤	2018/4/23	なし	公1(1) 集会行事	東京理科大学
執行理事	伊藤 栄作	非常勤	2019/4/17	なし	公1(1) 集会行事	三菱重工業(株)
執行理事	岡田 満利	非常勤	2019/4/17	なし	公1(1) 技術普及	(一財)電力中央研究所
執行理事	佐藤 哲也	非常勤	2019/4/17	なし	公1(2) 学会誌編集	早稲田大学
執行理事	村田 章	非常勤	2019/4/17	なし	公1(2) 論文	東京農工大学
執行理事	岸部 忠晴	非常勤	2019/4/17	なし	公1(2) 調査研究	三菱日立パワーシステムズ(株)
執行理事	高原 雄児	非常勤	2018/4/23	なし	公1(2) 広報	防衛装備庁
理事	萩川 宏樹	非常勤	2017/4/19	なし	公1(1)	(株)JALエンジニアリング
理事	石井 達哉	非常勤	2019/4/17	なし	公1(2)	(国研)宇宙航空研究開発機構
理事	大塚 裕也	非常勤	2018/4/23	なし	公1(2)	(株)本田技術研究所
理事	黒瀬 良一	非常勤	2018/4/23	なし	公1(2)	京都大学
理事	千葉 秀樹	非常勤	2018/4/23	なし	公1(2)	酒田共同火力発電(株)
監事	筒井 康賢	非常勤	2019/4/17	なし	業務監査	元 高知工科大学
監事	松崎 裕之	非常勤	2019/4/17	なし	業務監査	東北発電工業(株)

(2) 会員

会員種別	会 員 数		増減数
	本年度末 2020年2月29日現在	昨年度末 2019年2月28日現在	
正会員	1920名	1980名	△60名
賛助会員	115社(148口)	115社(148口)	0社(0口)
学生会員	36名	48名	△12名
終身会員	58名	59名	△1名
名誉会員	45名	45名	0名

\*正会員増減数には、定款第11条及び会員に関する規程第15条による「資格喪失者」7名減を含む。

## (3) 職員

2020年2月29日現在

職務	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局員	中村 優美	2002年4月25日(嘱託) 2007年7月2日(常勤)	事務局の総括	事務局長
事務局員	山本 由香	2012年11月14日(アルバイト) 2014年11月14日(嘱託)	事務局事務一般	
事務局員	田頭 味和	2016年4月4日(アルバイト)	事務局事務一般	
事務局員	細川 真子	2016年9月6日(アルバイト)	事務局事務一般	

## 2. 役員会等

## (1) 理事会

開催月日	議事事項	会議の結果
2019/3/15	1) 会員入退会、資格喪失の件 2) 2019年度理事・監事・委員長候補者の件 3) 2018年度事業報告および附属明細書(案)の件 4) 2018年度計算書類および財産目録(案)の件 5) 2019年度予算の件 6) 2018年度通常総会議案の件 7) 2018年度通常総会次第、招集通知の件 8) 規程類改定の件 9) 事務局専任職員の昇給の件 10) 代表理事・執行理事報告 11) 2018年度監事監査報告 12) 各委員会報告、事務局報告 13) 2019年度第1回理事会議事録	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 全会一致で承認
2019/4/17 (臨時理事会)	1) 代表理事の選定の件 2) 執行理事の選定の件 3) 業務分担の件 4) 2019年度第1回臨時理事会議事録	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認
2019/5/20	1) 理事会引継書の件 2) 会員入退会、資格喪失の件 3) 財務状況報告の件 4) 委員会構成の件 5) 内閣府公益認定等委員会への提出書類の件 6) 日本内燃機関連合会会員継続の件 7) 規程類改定の件 8) 事務局6月度賞与の件 9) 代表理事・執行理事報告 10) 各委員会報告、事務局報告 11) 2019年度第2回理事会議事録	全会一致で承認 全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2018/7/8	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 2019年度第2回ガスタービン市民フォーラム共催依頼の件 5) 国産ガスタービン・過給機資料集の件 6) 令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰候補推薦の件 7) 代表理事・執行理事報告 8) 各委員会報告、事務局報告 9) 2019年度第3回理事会議事録	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2019/9/12	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 他学協会からの協賛依頼行事の件 5) 第48回ガスタービンセミナー共催依頼の件 6) 代表理事・執行理事報告	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認/了承 全会一致で承認 了承

	7) 各委員会報告、事務局報告 8) 2019 年度第 4 回理事会議事録	了承 全会一致で承認
2019/10/31	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 他学協会からの協賛依頼行事の件 5) 規程類改定の件 6) 事務局嘱託職員契約の件 7) 代表理事・執行理事報告 8) 各委員会報告、事務局報告 9) 2019 年度第 5 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認／了承 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2019/12/13	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 次年度事業計画の件 4) 次年度予算案の件 5) 名誉会員候補者・終身会員候補者選定の件 6) 事務局職員賞与の件 7) 他学協会からの協賛依頼行事の件 8) 代表理事・執行理事報告 9) 各委員会報告、事務局報告 10) 2019 年度第 6 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 継続審議 継続審議 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認／了承 了承 了承 全会一致で承認
2020/2/14	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 特定費用準備資金計画一部変更の件 4) 2020 年度事業計画の件 5) 2020 年度予算の件 6) 2020 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 7) 2020 年度役員候補者推薦の件 8) 2019 年度日本ガスタービン学会賞審査結果 9) 国産ガスタービン・過給機資料集発行の件 10) 事務局職員給与の件 11) 代表理事・執行理事報告 12) 各委員会報告、事務局報告 13) 2019 年度第 7 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認

(2) 総会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2019/4/17	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2018 年度通常総会 第 1 号議案： 計算書類および財産目録の件 第 2 号議案： 理事選任の件 第 3 号議案： 監事選任の件 第 4 号議案： 名誉会員候補者の件 第 5 号議案： 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 饒 雅英 他 4 名 開催 1 回

GDPR への対応に関する事項を担当した。

(2) 自己点検委員会

委員長 饒 雅英 他 4 名 開催 1 回 (内 E-mail 会議 1 回)

2019 年度において日本ガスタービン学会が主催した事業について、各事業主体の委員会に自己点検チェックリストに基づく自己点検を依頼し、その結果について確認した。

(3) 運営委員会

委員長 寺本 進 他 9 名 開催 7 回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。

(4) アドバイザリー委員会

委員長 油谷 好浩 他 39 名 開催 1 回

2018 年度および 2019 年度の活動状況、産官学連携活動、国際活動の各概要説明を受け、学会活性化に向けた議論を行った。

(5) 企画委員会

委員長 壹岐 典彦 他 9 名 開催 2 回 (内 E-mail 会議 1 回)

前年度までの学会の会員増強、収支改善等の検討を振り返り、将来ビジョン検討委員会の検討状況を確認した。そのうえで、ミッションステートメントの審議を開始し、素案をまとめた。

(6) 国際委員会

委員長 船崎 健一 他 10 名 開催 4 回

6 月にフェニックスで開催された ASME Turbo Expo 2019 に展示ブースを出展した。IAC (International Advisory Committee) のミーティングを ASME Turbo Expo 2019 会期中に開催し、2018 年 8 月盛岡で開催された ACGT2018 の概況及び IGTC2019Tokyo についての概要説明を行うとともに、IAC メンバーを通じた参加呼びかけを依頼した。また、IGTC2019Tokyo の開催に合わせ、IAC ミーティング及び ACGT ミーティングを実施した。前者では、開催中の IGTC2019 に対する貴重なコメントを頂くとともに、後者では、中国及び韓国のメンバーとともに 2020 年度に中国で開催予定の ACGT2020 についてかなり具体的な意見交換を行った。

(7) 学術講演会委員会

委員長 渡邊 裕章 他 14 名 開催 5 回

第 47 回日本ガスタービン学会定期講演会を函館アリーナ(函館市)で開催し、見学会(北海道電力(株)新北本連系設備北斗変換所、津軽海峡フェリー(株)双胴高速フェリーなど)を実施した。また、ガスタービン市民フォーラム 2019 を函館工業高等専門学校にて開催した。

(8) 集会行事委員会

委員長 山本 誠 他 13 名 開催 6 回 (内 E-mail 会議 1 回)

集会行事の企画・実施・資料集発行等を担当した。定例の行事として、学生および若手技術者を対象とした第 32 回教育シンポジウム((株)IHI 昭島事業所)(2 日間)、設備見学および技術懇談会を目的とした見学会((株)JAL エンジニアリング エンジン整備センター及び成田航空機整備センター(半日))、「ガスタービンの最新技術動向」をテーマとした第 48 回ガスタービンセミナー(東京大学・山上会館)(2 日間、講演数 11 件)を開催した。また、ガスタービン専門分野の講義・講演と技術者同士の交流を目的とした若手技術者交流会(川崎重工業(株)明石工場(テーマ:CFD))(半日)を実施した。

(9) ガスタービン技術普及委員会

委員長 岡田 満利 他 9 名 開催 3 回

定期講演会と併催するガスタービン市民フォーラムの講師選定、総会後の特別講演会の講師推薦、教育シンポジウム講師選定を行い、それぞれの行事の担当委員会に答申した。2019 年度は JAXA 調布航空宇宙センターの一般公開、および虎ノ門ヒルズ フォーラムで開催された IGTC2019 で市民フォーラムを開催し、学会外への情報発信と学会の PR を実施した。将来のガスタービン技術を担う高校生など若い世代の興味や関心を喚起するような講義に使用できる「初学者向け教育」用教材、自己学習システムの構築などに関して検討を進めた。また、学会 50 周年に予定される教科書改訂(改訂第二版)に向け、スケジュールおよび改訂方針設定の準備を行った。

(10) 学会誌編集委員会

委員長 佐藤 哲也 他 29 名 開催 6 回

学会誌の企画・編集・発行に関する事項（特集記事の企画・執筆依頼・校正、各号の編集・発行等）を担当した。特集として、2019年3月「ガスタービンのMRO最新動向」、2019年5月「さまざまな分野・製品で活用されている空力技術」、2019年7月「石炭火力発電のCO2排出低減技術の最新動向について」、2019年9月「エネルギー産業への機械学習の応用」、2019年11月「マルチフィジックスシミュレーションの進展」、2020年1月「発電機、第47回定期講演会（函館）報告」を企画・編集し、研究・開発・設計技術者からユーザー各社の技術者まで、幅広い読者に関心を持って頂ける内容となるように努めた。また、関連規程類の見直しを行った。

(11) 論文委員会

委員長 村田 章 他12名 開催4回（内E-mail会議3回）

学会に投稿された和文及び英文技術論文の査読、電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems（略称 JGPP）の編集・発行を行った。学会誌編集委員会と調整しながら投稿規程の改訂作業を進めた。オンライン投稿・審査システムの導入検討を行った。オープンアクセスジャーナルである JGPP の著作権表記方法について Creative Commons の導入の検討を行った。

(12) ガスタービン統計作成委員会

委員長 太田 有 他9名 開催5回（内E-mail会議3回）

2019年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌2019年9月号（Vol.47 No.5）に掲載した。また、国産ガスタービン・過給機資料集（2019年版）の編集を行い、2020年2月に出版した。

(13) 産官学連携委員会

委員長 岸部 忠晴 他14名 開催3回

ガスタービン・ジェットエンジンに関する研究開発プログラムの具体化方策や、学会の産官学連携促進活動について検討を行った。航空用ガスタービン技術に関する共同研究プロジェクトについて、ガスタービンを考える会で検討している材料データベース構築の研究プロジェクトに助言を行うとともに、このプロジェクトを立案・実施するために設置した調査研究委員会のプロジェクト案に対して助言を行い、プロジェクトの具体化を促した。

(14) 広報委員会

委員長 高原 雄児 他7名 開催1回

ホームページやSNSにおける閲覧コンテンツ/ダウンロードサービスの充実化について、各委員会からのニーズ及び提案を収集し、実現の方策等について議論を行った。

(15) 表彰委員会

委員長 識名 朝春 他4名 開催4回（内E-mail会議4回）

学術講演会委員会と協力して、第47回定期講演会で講演発表した学生の交通費の一部助成を実施し、さらに同委員会と協力の下、学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。また、IGTC2019Tokyo で講演発表する若手研究者に対して交通費の一部を助成した。学会賞審査委員会の設置にあたり、委員候補者を推薦した。

(16) 名誉会員候補者選考委員会

委員長 渡辺 紀徳 他6名 開催1回

規定に従って名誉会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(17) 終身会員候補者選考委員会

委員長 渡辺 紀徳 他4名 開催1回

規定に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 識名 朝春 他4名 開催2回

2020年度に就任する理事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。



(19) 将来ビジョン検討委員会

委員長 高橋 徹                      他 9 名                      開催 4 回

若手会員の視点から学会活動を分析した上で、将来の望ましい学会像について討論を行い、実現の方策を提言することを目的として報告書を纏めた。

(20) 男女共同参画推進委員会

委員長 都留 智子                      他 4 名                      開催 4 回

6 月に講演および意見交換会「男女共に働きやすい職場とは」を開催した。また、11 月に開催された IGTC2019 会期中に、女性技術者のネットワーク形成と情報共有に寄与するため意見交換会を開催した。

(21) IGTC2019 実行委員会

委員長 西澤 敏雄                      他 12 名                      開催 5 回

国際会議を、2019 年 11 月 17 日から 22 日の日程で虎ノ門ヒルズフォーラム（東京都港区）にて開催した。一般講演 178 件の発表の他、招待講演 8 件およびパネルディスカッション 2 件の企画を行うとともに、同会場内にて国内外の 28 社・機関の展示会および国内大学のポスター展示を開催した。会期中イベントや関東近郊の設備等の見学会を実施した。

(22) エキスパート委員会

委員長 船崎 健一                      他 3 名                      開催 1 回

エキスパート委員会の活動の方向性を議論するため、前年度の委員会での議論を踏まえつつ、他学協会のシニア会などの資料を参考にしながら、エキスパート委員会の目的、組織、運営方法などについて多面的に意見交換を行った。その議論を基に、次年度の活動計画を取りまとめた。

(23) 調査研究委員会（材料データベース調査研究委員会）

委員長 川岸 京子                      他 10 名                      開催 6 回

航空用ガスタービンに関する国内共同利用材料データベースの構築に向けてプロジェクト化を検討し、研究計画の立案を開始した。

(24) 学会賞審査委員会

委員長 田沼 唯士                      他 7 名                      開催 2 回

本年度は、学会賞審査の年度にあたる。自薦他薦および論文委員会から推薦された論文や技術に対して、専門的見地から審査する審査員を選出して、慎重かつ公正な審査を実施した。2020 年 1 月 17 日に技術賞のヒアリングを含む最終審査会を開催し、論文賞 2 件、技術賞 3 件、奨励賞 2 件の候補を選出した。